

# 平成28年度 施策評価シート

基本目標	新しい事業が起き、人が集まる「すみだ」をつくる	
政策	320	楽しく時間を過ごせる、こだわりをもった商業・サービス業の集積を進める
施策	321	質の高い消費生活を提案できる商業集積を進める
施策の目標	消費者ニーズを的確にとらえ、より豊かな生活を提供する商業・サービス業が多数集積し、特に個性ある魅力的な個店には区外からも多くの感性の高い消費者が訪れ、消費を楽しんでいます。	

## 1 基本計画における成果指標

指標名	単位	目標値	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
小売業における売り場面積当たりの年間販売額	円/m <sup>2</sup>	1,500,000	1,142,847	-	-	1,264,652	-
中心性指数(区内の小売店を利用することを表す数値)		1.15	0.82	-	-	0.83	-

## 2 1の「成果指標」以外に施策の進捗状況を示す指標

指標名	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
工房ショップ認定数	店	1	2	2	2	0

## 3 目標と現状(実績)についての分析

指標の推移・施策の課題や問題点について記述
<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営者の高齢化や後継者難、あるいは資金難などに陥っている商店が多い。</li> <li>・区外からのチェーン店等の流入により既存の区内商店の経営が厳しい状況となっている。</li> <li>・各商店街の魅力の向上は途上であり、若手商業人の活躍は不十分である。</li> </ul>

## 4 今後の施策の運営方針

施策の戦略的方向性(選択肢に を付ける)
(1) 優先的に資源投入を図る。
(2) 現状維持とする。
(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
(4) 資源投入の縮小を図る。
<b>【上記の判断理由】</b> 区内外の消費者の満足度を向上するためには、より魅力的な商業集積を進めることが極めて重要である。東京スカイツリーの開業という機会を最大限生かすことができるように支援を強化する。
<b>【今後の具体的な方針】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者のニーズをとらえた個性豊かな商店(個店)づくりを支援する。</li> <li>・来街者が回遊しながら区内にとどまれるよう、工房ショップの整備を進める。</li> <li>・こだわりの店や隠れた名店のPRを積極的に行い、来街者を誘引することで地域の活性化を目指す。</li> </ul>



事務事業名	「個だわりすみだ発掘隊」支援事業		所管課・係	産業経済課
施策	321	質の高い消費生活を提案できる商業集積を進める	連絡先	03-5608-6187
予算書名称	「個だわりすみだ発掘隊」支援事業費		執行実績報告書ページ	136

1 事業の概要

平成17年度 ガイドブック第1弾を発行(特定テーマなし) 平成18～21年度 毎年度 ガイドブックを発行(同上) 平成22年度 ガイドブック「食の特別編」を発行 平成23年度 ガイドブック「被災地応援編」を発行 平成24年度 ガイドブック「また行きたくなるお店編」発行 平成25年度 ガイドブック「すみだを体感できるお店編」発行 平成26年度 ガイドブック「スイーツラベル編」発行 平成27年度 ガイドブック「こだわりの麺編」発行	事業開始年度	平成17年度
	終了予定年度	-

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

<b>【対象】 誰(何)を対象としているのか</b>						
墨田区商店街連合会	に対して					
<b>【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)</b>						
消費者などの声をもとに発掘した「こだわりの店」や「隠れた名店」のPR活動に対する補助	を実施したことで					
<b>【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか</b>						
区内店舗への来店者を増やし、地域が活性化した	状態にする。					
<b>目的を達成するための指標</b>						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	ガイドブック発行部数	部	目標値	25,000	10,000	15,000
			実績値	25,000	10,000	15,000
活動指標 (手段に対する指標)	紹介店舗数	店舗	目標値	/	/	/
			実績値	16	25	23
<b>目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)</b>						
ガイドブックは発行部数のほぼすべてを配布しており、紹介した店舗から「客が増えた」などの声もあることから、一定の効果を上げていると考えられる。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度 歳出予算額	2,500	27年度 歳出決算額	2,500	27年度 執行率	100.0%	28年度 歳出 予算額	2,500
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有	/		
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		商店街連合会補助金					
27年度 実績額	2,500	28年度 予算額	2,500	対象	墨田区商店街連合会		
開始 年度	平成17年度	根拠法令	墨田区商店街連合会補助金交付要綱				
算定基準	消費者などの声をもとに発掘した「こだわりの店」や「隠れた名店」のPR活動に対する補助			補助率	10分の10(限度額250万円)		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価	どちらかといえば必要
チェーン店等が増える中、地域に根差した魅力的な店舗を紹介する意義は高い。				
(2)事業の有効性	評価結果	どちらかといえば有効	前年度評価	どちらかといえば有効
ガイドブックを配布することで魅力的なPRを行っており、紹介店舗からの声も良好である。				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
各店舗に対して時間をかけて取材し、充実とした情報によるPRを行っている。				
(4)現状と課題	今後も引き続き、地域の魅力的な個店を紹介し、地域の活性化を図る必要がある。			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	事業開始当初には想定されていなかったスカイツリー開業に伴い、区の施策において観光の視点が重要度を増していることも踏まえつつ、特色ある店舗のPRについて継続して支援していく必要がある。
今後の方向性 (見直しの視点)	引き続き、区内の魅力ある個店を発掘し、紹介していくことで、区内店舗への来店者を増やし、地域の活性化につなげていく。		
平成27年度区議会の質問状況	時期	27年8月 観光対策等調査特別委員会	
	要旨	外国人対応	

事務事業名	魅力ある個店づくり整備促進事業		所管課・係	産業経済課
施策	321	質の高い消費生活を提案できる商業集積を進める	連絡先	03-5608-6186
予算書名称	魅力ある個店づくり整備促進事業費		執行実績報告書ページ	137

1 事業の概要

平成27年度 事業開始 ・国の「小規模事業者持続化補助金」「創業・第二創業促進補助金」の採択を受け、店舗改装や新規出店を行う場合に、区による上乗せ補助を実施。 ・対象エリア:「浅草通り」「タワービュー通り」周辺エリア	事業開始年度	平成27年度
	終了予定年度	平成29年度

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか		区内の既存個店、新規出店希望者	に対して			
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)		魅力的な店舗づくりに対する支援	を実施したことで			
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか		魅力ある個店の集積を図り、観光客や来街者の回遊を促すとともに区内商業が活性化した	状態にする。			
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	補助金交付額	千円	目標値			6,250
			実績値			270
成果指標 (目的に対する指標)	既存個店・新規出店への支援	店	目標値			35
			実績値			3
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
上乗せ元となる国補助金「小規模事業者持続化補助金」「創業・第二創業促進補助金」の採択にあたってのハードルが高く、さらに区によるエリア指定を設けているため、支援数が限定的となった。						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度 歳出予算額	420	27年度 歳出決算額	270	27年度 執行率	64.3%	28年度 歳出 予算額	5,210
27財源内訳 (決算額)	国庫支出金	都支出金	その他	一般財源			
	無	無	無	有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		魅力ある個店づくり整備促進事業補助金					
27年度 実績額	270	28年度 予算額	4,250	対象	既存個店・新規出店		
開始年度	平成27年度	根拠法令	魅力ある個店づくり整備促進事業補助金交付要綱				
算定基準	店舗の改装や出店に要する費用			補助率	補助対象経費の1/6		

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	どちらかといえば必要	前年度評価
区内商業の活性化あたっては、これまでの商店街を対象とした支援に加え、個店単位での支援を充実させていくことが必要である。			
(2)事業の有効性	評価結果	低い	前年度評価
上乗せ元となる国補助金の採択のハードルが高かったことから、事業効果が限定的となった。			
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価
対象エリアを指定することにより、バラマキとせず集中的な支援を実施している。			
(4)現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業効果が限定的となっている。</li> <li>・個人の資産形成に関与することから、公平性確保への留意が必要である。</li> </ul>		

5 総合評価(課長評価)

評価結果	改善・見直し	判定理由	区内商業の活性化あたっては、これまでの商店街を対象とした支援に加え、個店単位での支援を充実させていくことが必要である。一方で、その支援内容については、実績を検証し、より効果的な方法を検討する必要がある。
今後の方向性 (見直しの視点)	今後の事業実績を検証の上で、より効果的な方法を検討していく。		

平成27年度区 議会の質問状 況	時期	第1回定例会 予算特別委員会
	要旨	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の補助制度の周知</li> <li>・食に関する個店の取扱い</li> </ul>

事務事業名	工房ショップ創出事業		所管課・係	産業経済課産業振興担当
施策	321	質の高い消費生活を提案できる商業集積を進める	連絡先	03-5608-6186
予算書名称	「工房ショップ」創出推進経費		執行実績報告書ページ	137

1 事業の概要

平成6年度、墨田区産業振興プランで、モデルショップの集積、見える工場等の提案。平成9年度、工房ショップ及び見える工場作り検討委員会報告書(ファッションタウン推進協議会)。平成10年度、開始。平成12年度、モデルショップ事業(平成元年～)と統合。平成18年度、助成金交付対象地域を北斎通り地区、馬車通り地区、曳舟周辺地区、浅草通り及びタワー周辺地区に拡大。平成23年度、区内全域に拡大。	事業開始年度	平成10年度
	終了予定年度	

2 事業の対象・手段・目的(具体的に、限定的に記入してください)

【対象】 誰(何)を対象としているのか						
区内製造業者	に対して					
【手段】 どのような方法で行ったのか(具体的な事業内容)						
工房ショップとして認定し、1,500千円を限度として設置に要する経費の2分の1の額を助成するとともに、小さな博物館やマイスターとともに3M運動の一環としてPR	を実施したことで					
【目的】 この事業によって対象をどのような状態にするのか						
従来の仕事場を見学可能なものとするとともに、ものづくりのまちならではの個性的な商業空間を併せ持った	状態にする。					
目的を達成するための指標						
種類	指標名(指標の説明)	単位	年度	H25年度	H26年度	H27年度
活動指標 (手段に対する指標)	工房ショップ助成金交付額	千円	目標値	4,500	3,000	4,500
			実績値	520	3,332	1,500
成果指標 (目的に対する指標)	工房ショップ認定・改修数	店	目標値	2	2	3
			実績値	1	3	1
目的の達成に対する事業の結果(指標分析と事業実績の要因分析)						
墨田区に移ってきた若い事業者が開いたセンスのある工房ショップが増えてきている。また、既存事業者でも改修補助制度を利用して、ショップの魅力向上に努めている方もいる。(平成27年度は改修1件)						

3 予算・決算状況(金額の単位は全て千円) \*歳出は切上げ、歳入は切下げ

科目	款	産業観光費	項	商工費	目	商工振興費	
27年度歳出予算額	4,500	27年度歳出決算額	1,500	27年度執行率	33.3%	28年度歳出予算額	3,000
27財源内訳(決算額)	国庫支出金 無	都支出金 無	その他 無	一般財源 有			
使用料等の収入の有無	無	使用料等名称	-			収入額	-
補助金名称 *複数ある場合は代表的なもの		工房ショップ整備補助金・改修補助金					
27年度実績額	1,500	28年度予算額	3,000	対象	工房ショップを設置または改修しようとするもの		
開始年度	平成10年度	根拠法令	すみだ工房ショップ支援要綱				
算定基準	工房ショップの設置・改修に要する経費		補助率	対象経費の2分の1(限度額150万円)			

平成28年度 事務事業評価シート

4 視点別の評価(担当者評価)

(1)事業の必要性	評価結果	高い	前年度評価	高い
<p>「工場見学」の流行、海外から安価な製品が入ってきている中での「製品への信頼」など、時代のニーズにマッチしているため。</p>				
(2)事業の有効性	評価結果	上昇	前年度評価	上昇
<p>工房ショップの改修、新規認定の相談が増えてきているため。</p>				
(3)事業の効率性	評価結果	どちらかといえば効率的	前年度評価	どちらかといえば効率的
<p>27年度は改修が1件のみで補助額は少なかったが、中期的に見ると概ね横ばいで推移している。</p>				
(4)現状と課題	<p>事業の趣旨に賛同して認定を希望する事業者が増えてきており、予算内での対応が難しくなるおそれがある。</p>			

5 総合評価(課長評価)

評価結果	現状維持	判定理由	国際観光都市すみだの実現にあたっては、ものづくりと観光の融合が大きな課題となっている。その課題を克服していくため、工房ショップ創出事業をより効果的に継続していくことは極めて重要である。
今後の方向性 (見直しの視点)	2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催も見据え、より魅力的な観光資源、産業振興の拠点となるための取組を推進する(新たな拠点の発掘、既存施設の魅力アップ、効果的なPR事業の実施等)		
平成27年度区 議会の質問状 況	時期	27年8月 観光対策等調査特別委員会	
	要旨	27年8月 ・体験プログラム ・広報のターゲット ・美術館から3M事業者への誘導 ・事業者の所在地に係る都市整備的な観点 ・事業者の本業と観光施策の両立 ・外国人対応	